

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良くなっている	コンビニ（店長）	単価の動き	・イベントや試食販売、声掛けなどの売り込みが好調で、クリスマスケーキや年賀状印刷などが売上、件数共に前年を上回り、客単価も上昇している。来客数は前年比102%、売上は同107%となっている。
		家電量販店（店長）	単価の動き	・地上デジタル放送に関連して映像商品が顕著に動いているが、特にプラズマテレビ、液晶テレビの販売が好調である。また、白物では家計に余裕が出ないと購入されにくい食洗器や温水洗浄便座などの商品に活発な動きが出てきている。
		通信会社（営業担当）	販売量の動き	・年末商戦の影響で、テレビを中心とするデジタル関連機器の売行きが右肩上がり、これに比例するかのように入社のCATV及びインターネット加入実績が非常に伸びている。
やや良くなっている		商店街（代表者）	お客様の様子	・非常に寒い日が続いているが、客の往来は増えている。昨年と違い、噴火、地震などの災害がないので店の売上も伸びている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・このところ冷え込みが強くなってきたので、暖房器具の品不足が多くなってきている。
		商店街（代表者）	単価の動き	・ランドセルの早期注文を取ったところ、単価は非常に高いのに、前年より3割くらい多く注文が入っている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・気温が低く、冬物、防寒物の動きが大変良くなっている。
		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・12月中旬から寒波が続いており、防寒衣料の売行きが好調である。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・12月は気温の低さもあり、冬物衣料の動きがかなり良く、前年を大きくクリアしている。住生活商品は若干悪く、食品は前年並みの状況が続いている。総合的には今までに比べ、若干動きが良い。
		スーパー（販売促進担当）	単価の動き	・食品関係の来客数は前年比9割程度であるが、単価が上向き、前年をクリアしている。衣料関係は今年の温度要件により、来客数、客単価共に大きく伸びている。
		スーパー（統括）	販売量の動き	・厳冬により、防寒衣料、防寒用品が好調に推移している。特に、調温機能のある実用衣料は前年比180～200%と伸びており、肉厚のトレーナーやニット、コート、ブルゾンも同120%と前年を大きく上回っている。鍋物商材の動きも好調で、豪雪の影響による野菜の高騰はあるものの、点数、客単価共に伸びている。ギフトは競合店の早割り前半前年の95%で推移していたが、10日以降急激に戻り、同105%となっている。
		衣料品専門店（店長）	販売量の動き	・今月は寒い日が続いたために、厚手のニットや防寒物のインナーやアウターの動きが良い。ただし、必要な物しか買わない傾向でコーディネート販売は少ない。
		衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・12月中旬以降から急に寒くなった影響もあるのか、厚手のコートが突然売れ出し、ここ何年かと比較するとフリーの客が結構増えて幾分上向きである。
		家電量販店（営業担当）	単価の動き	・薄型テレビなど、地上デジタル放送関連商品で単価が上がっている。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・年の瀬ということと、寒波による影響で、タイヤ、車の修理の需要が増えている。客の動きも通常より多くなっている。
		住関連専門店（仕入担当）	販売量の動き	・季節品、特に暖房機器、防寒用品の販売量はここ数年で最高となっており、商品の供給が不足気味である。
スナック（経営者）	来客数の動き	・フリーの来客数は伸び悩んでいるが、宴会の予約数、客単価共に上向いてきており、売上はますますである。あまり2次会などには流れないで、1次会でしっかり飲んでバスや電車のあるうちに解散するところが多いようである。		

	観光型ホテル (経営者)	お客様の様子	・低単価のバック等の売行きは低迷しているが、露天風呂付きの客室などの高単価商品は好調である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・忘年会シーズンの繁忙期に加え、12月に入ってから大雪が続いたことで昼間のタクシー需要が急増し、間に合わないほど忙しい。また、大手メーカーのストーブのリコール回収によるタクシー需要も継続している。
	タクシー運転手	お客様の様子	・あいさつ回りや忘年会などの動きで、売上が前年比10%程度上昇している。料金的にみると、単価の大きなものではなく、小さなもの数が非常に多かったことが原因である。
	住宅販売会社 (経営者)	販売量の動き	・このところ需要に供給が追いつかない場所は、すぐに成約に結び付く傾向となっている。
変わらない	一般小売店〔金物〕 (経営者)	販売量の動き	・雪の日が多くなったが、まだ最終追い込みの工事等があり、販売量はまあまあである。
	一般小売店〔家電〕 (経営者)	お客様の様子	・客は必要があれば買う、必要なければ買わないという動向で、年末だからとか安いから買うという動きはみられなくなっている。
	百貨店(売場主任)	販売量の動き	・この冬は暖冬といわれていたが、厳しい寒さ、寒波が続いている。当地域は寒波はきたが雪は少なかったことから、客が多く来店し、コートやウオームビズ対応の商品が非常に売れている。
	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・法人、会社関係のお歳暮の配送数が減少している。
	スーパー(経営者)	単価の動き	・食料品の単価は相変わらず下落している。
	コンビニ(店長)	販売量の動き	・イベントやキャンペーンなどがあつたときには客が増えるが、通常の動向はほとんど変化がない。何かきっかけがなければ特別売上が伸びるということがないので、あまり変わっていない。
	乗用車販売店 (経営者)	お客様の様子	・11月下旬から12月は車両販売の売上が見込める月だが、継続車検を受けて保有期間を伸ばそうとする客が増えている。
	住関連専門店 (店長)	販売量の動き	・来客数は伸びているが、買上点数は減少している。ただし、暖房用品は前年比200%で推移している。
	その他専門店 〔携帯電話〕 (営業担当)	販売量の動き	・売上が大きく伸びるわけでもなく、報道されているような景気の良さはとても感じられない。携帯電話についても、客が安い物、安い店を探しながら購入している状況は相変わらずである。
	高級レストラン (店長)	販売量の動き	・景気回復の傾向といわれているが、依然として近隣で廃業などが出ている。売上自体は前年と同程度だが、回復の実感は感じられない。
	一般レストラン (経営者)	お客様の様子	・忘年会シーズンにもかかわらず、家族連れや10名前後のグループで簡単に済ませているようで、会社関係の大口は相変わらず少ない。
	都市型ホテル (経営者)	来客数の動き	・客単価が前年に比べて低く、低価格の部屋から売れている。客はインターネット等を使って、割引率の高い方法で予約している。
	旅行代理店(従業員)	販売量の動き	・宿泊を伴う忘年会が前年より20%ほど少なくなっている。
設計事務所(所長)	来客数の動き	・地方では景気が上向いているという気配は感じられない。設計の依頼客も少ない。	
住宅販売会社 (経営者)	お客様の様子	・東京では景気が良くなったと聞くと、当地域では良くなったという実感は全然ない。一部で良い業種もあるのだろうが、不動産業界では、話はあるが成約には至らないというのが実情である。	
やや悪くなっている	一般小売店〔精肉〕 (経営者)	お客様の様子	・株価は上がっているが、物価は相変わらず低価格で推移している。今月は寒波が厳しく、大型店には客が出向いていても、一般小売店の客はその分少なくなっている。年末商戦も皆控え目であり、贈答品も前年より動きが悪い。
	スーパー(経営者)	販売量の動き	・ここ1か月で大規模スーパー、シネマコンプレックス、専門店のある大型商業施設や、スーパーとドラッグストアを核とする近隣型ショッピングセンターなど、新しいショッピングセンターが4店舗も出店している。

		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・本格的な冬が到来し、年末30日から50%オフセールを開催したにもかかわらず、来客数は17%減である。町の中は人通りもまばらで、郊外デパートの一人勝ちと思われるほどである。
		タクシー(経営者)	お客様の様子	・忘年会は前年並みであったが、2次会、3次会が少なかったことから、売上は前年同月比で4.5%減少している。
		ゴルフ場(支配人)	それ以外	・来場者は年末の臨時営業で確保したものの、予想に反した厳しい寒さのため、予約の伸びが特に後半少なくなった。また、寒さのためにハーフで上がるという年配客も発生している。
		その他サービス [自動車整備業](経営者)	来客数の動き	・車検は安く済ませたいという客が多く、在庫量も前年度より1割ほど減少しており、いまだに来客数、売上共に戻る気配がない。
	悪く なっている	一般小売店[衣料](経営者)	来客数の動き	・企業等ではボーナスが出ているようだが、町や客の様子はボーナスが出たようには感じられない。19日より当地区でも雪が降り、寒さが厳しくなったため、衣料品の動きが多少あったが、月間で前年より2万円ほど売上が増えただけで、特に大幅な増加でもなく、毎月の赤字を埋めるまでにはなっていない。
		衣料品専門店 (経営者)	来客数の動き	・大雪のため人出が全くない。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	食料品製造業 (営業統括)	競争相手の様子	・国産の低コスト物ばかりではなく、中級品まで比較的順調に伸びている。
		食料品製造業 (製造担当)	受注量や販売量の動き	・単価は平均して10円下がっているが、販売数は前年より好調である。
		化学工業(経営者)	受注量や販売量の動き	・休日出勤をしながら、目一杯注文をこなしており、賞与の上積みもしている。年末年始、元旦も一部の設備を稼働させるので宿直者を置くことにしている。こんなことは20年くらい前にあったかなというくらい久々である。
		窯業・土石製品製造業(経営者)	受注量や販売量の動き	・例年の季節商品に加え、特注品の受注が重なった。クリスマスプレゼント用にシルバーアクセサリーを作る体験者も増加している。
		金属製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・親会社の工作機械はマシニングセンタや専用機など自動車関連の受注で来年中は一杯である。トラック関係の特装車両など、来年の9月ごろまではフル稼働といわれている。
		一般機械器具製造業(生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・多くの客先から年末に納入を間に合わせてもらいたいとの強い要求があり、一部の部署では24時間稼働や人材派遣で対応している。売上高は前年比で約10%上昇している。
		輸送業(営業担当)	取引先の様子	・寒波のために取引先の暖房器具等が大幅に売れ、特に原油高のあおりで電気式暖房器具等の輸送依頼も多く増えている。また、原油高で車両確保が厳しい状況であるが、運賃的にはある程度幅をみてもらえている。
		新聞販売店[広告](総務担当)	取引先の様子	・今月のチラシ出稿量は前年比98%とやや落ち込んだが、今月から閉店した大型店の分を考えると前年並みに推移している。ホームセンター、靴屋では雪かきや長靴、防寒靴が品薄になるなど、好調とのことである。百貨店でもお歳暮を始め、冬物商品が順調に伸びていると聞いている。
		変わらない	輸送用機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き
		不動産業(管理担当)	受注量や販売量の動き	・ここ2~3か月はテナントの動きがなく、賃料収入は横ばいである。
		経営コンサルタント	取引先の様子	・本業の経営改善、改革を行ってきたところは着実に経営内容が良くなりつつある。生存競争に生き残り、マーケットシェアを上げてきた企業には繁忙の状況になっているところがある。まだまだ、市場の淘汰は進行中である。

		その他サービス業 [放送] (営業担当)	受注量や販売量の動き	・広告の多様化により受注競争が激しく、値引き要求が強い。商業、サービス業、不動産業からのスポットコマースの件数は増加しているが、期間が短く小口化している。
	やや悪くなっている	電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・6月決算の後、9、10月が売上のピークで、11月は10月の半分、12月は横ばいである。業種により落差が激しく、船舶関係の仕事は今も相当きており、医療関係、自動車関連も入っているが、それ以外のところが落ちている。
		不動産業 (経営者)	取引先の様子	・これまで委託していた業務を自社内で行い、ぎりぎりまで経費を削減する傾向が強くなってきている。
	悪くなっている	建設業 (総務担当)	それ以外	・公共の土木、塗装が中心のため、数年来売上が減少しており、ピーク時の3割しか売上が計上できない。企業に対する希望がもてないため、従業員の1割に当たる3名の優秀な社員が11月末で退職していった。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	民間職業紹介機関 (経営者)	求人数の動き	・製造業、コンピュータシステム開発関連が堅調である。個人住宅関連は堅調までには至らないものの、上向きの状態である。
	変わらない	人材派遣会社 (経営者)	求職者数の動き	・住宅関連、電機、電子、自動車関連の生産の動きが伸びたようで、製造を中心として求人の活発な動きがある。周辺企業の話では思ったより求職者数は少なかったとのことである。
		求人情報誌製作会社 (経営者)	求人数の動き	・アウトレットの合同面接会が開催され、約400名の応募があり、半数くらいが採用となった。3月のオープンまでにもう一度合同面接が予定されている。一方、中旬以降受けている正月号の求人広告は極度に落ち込んでいる。
		職業安定所 (職員)	求人数の動き	・新規求人は6か月ぶりに5,000を下回り、前年度比でも3か月連続で減少している。一方、派遣、請負会社を利用して一部の企業において、年齢構成の維持、技術継承のため直接雇用の求人が徐々にみられるようになってきている。かすかな明るい兆しである。
		職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・月間有効求職者数が平成15年2月から35か月連続、前年度に比べ減少している。この6か月間は減少幅が1けた台と横ばい傾向がみられるが、まだ変わらない状況である。
		職業安定所 (職員)	求職者数の動き	・3か月前と比べ、求人数はわずかに増加傾向にあり、求職者は1割程度減少しているが、求職者のうち在職者の占める割合は増加傾向にある。賃金、待遇等、現状に満足できていない状況がうかがえることから景気は変わっていない。
		学校 [短期大学] (就職担当)	求人数の動き	・求人数は一時期上向き傾向にあったが、12月に入り一段落している。特に事務職に関する求人は少なく、営業職を中心とした追加募集が若干ある程度である。
	やや悪くなっている	新聞社 [求人広告] (担当者)	求職者数の動き	・年末にかけて例年正社員を中心とした募集がかなりあるが、今年は相当悪い。普通は他に良いところがあると考えて動くのだが、景気が悪くなっているから今のところにしがみついて離れないようで動きがなく、反応が非常に悪い。当社だけではなく、雑誌や他の求人媒体でも同様の状況である。
悪くなっている	-	-	-	